



西桂町



VOL.
128

議会だより



4月7日(火) 小学校入学式

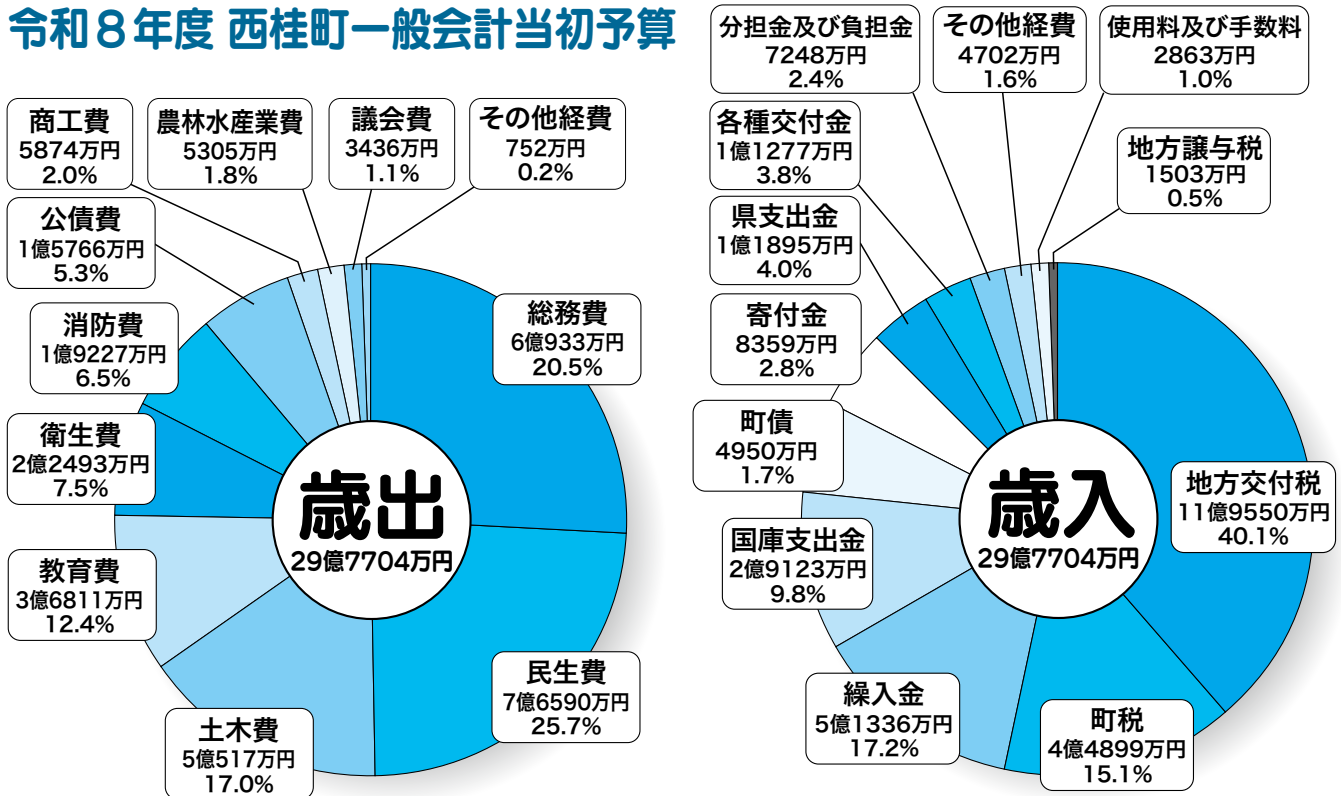
■ 令和8年度一般会計予算の概要 ……	2 ~ 3	■ 議会活動報告 ……	13
■ 堀内町長3月定例会所信表明 ……	4 ~ 5	■ 一般質問 (渡辺佳菜議員) ……	14
■ 各会計当初予算概要 ……	6 ~ 7	■ 一般質問 (安留重雄議員) ……	15
■ 委員会審議 ……	8 ~ 10	■ にしかつらの今昔 ……	16
■ 条例・補正予算・人事案件 ……	11 ~ 12		

令和8年3月定例会

令和8年西桂町議会3月定例会は、3月6日から3月19日までの14日間にわたって開催しました。

町長より令和8年度当初予算7件をはじめ、承認4件、条例案3件、議決案件1件、補正予算6件、人事案件2件など23件が提案され、すべての議案が原案のとおり承認・可決・同意されました。

令和8年度 西桂町一般会計当初予算



■基金(貯金)残高10億4188万円(約28万円)

■地方債(借金)残高

普通債 17億7594万円(約47万円)

臨時財政対策債 6億3462万円

※ 上記の割合は構成率です。

※ 左記の額は一般会計令和7年度末見込みです。

※〔 〕内はR8年4月1日現在人口3,784人で割った一人当たり額

一般会計当初予算の科目別対前年度比増減表

歳出

科目	令和8年度	令和7年度	増減額
総務費	6億933万円	7億9474万円	△1億8541万円
民生費	7億6590万円	7億3591万円	2999万円
土木費	5億517万円	4億7734万円	2783万円
教育費	3億6811万円	3億682万円	6129万円
衛生費	2億2493万円	2億1569万円	924万円
その他経費	5億360万円	5億3780万円	△3420万円
合計	29億7704万円	30億6830万円	△9126万円

歳入

科目	令和8年度	令和7年度	増減額
地方交付税	11億9550万円	11億9000万円	550万円
町税	4億4899万円	4億5344万円	△445万円
繰入金	5億1336万円	4億477万円	1億859万円
国庫支出金	2億9123万円	3億554万円	△1431万円
県支出金	1億1895万円	1億1893万円	2万円
その他経費	4億901万円	5億9562万円	△1億8661万円
合計	29億7704万円	30億6830万円	△9126万円

持続可能な町政運営と 住み良いまちづくりの実現を



安留 重雄 議員

ただいま、議長の許可を得ましたので、令和8年度西桂町一般会計予算についての賛成討論を行います。

国では昨年秋に日本初の女性の内閣総理大臣に高市早苗氏が就任し、物価高対策としてガソリン税の暫定税率の廃止、年収103万円の壁の引き上げにより所得税は160万円に（基礎控除48万円→95万円・給与所得控除55万円→65万円）、扶養控除は123万円へ引き上げ（103万円→123万円）になりました。また、消費税の減税や社会保険料の見直しなどで手取りのアップに期待が出てきました。

そして、令和8年1月に衆議院を解散、2月8日に衆議院議員総選挙が行われ、自民党が定数の3分の2以上の議席を獲得し安定した政権が組まれたことにより、首相が提言していた積極財政により経済・外交・安保そして株高・円安に寄与するものであり、今後の政権運営により日本経済の発展に期待していました。しかし、3月に入りアメリカ・イスラエルによるイランへの軍事攻撃により中東情勢が厳しくなり、原油市場に影響が出始めてきており、今後の世界経済にどのような影響が出てくるかわからない状況です。

そのような状況下に編成された令和8年度西桂町一般会計当初予算は、総額29億7,704万円であり、前年度当初予算と比較して9,126万2千円の減額、率にして3.0%の減となっており、旧庁舎解体事業の完了、物件費の圧縮などにより縮小予算となりました。

歳入においては、町税では、引き続き厳しい状況により4億4,899万4千円を計上、前年度比445万2千円、率にして1.0%の減額となっております。地方交付税においては11億9,549万6千円、分担金及び負担金は7,247万8千円を見込んでおります。

ふるさと応援寄付金については、昨年度から大幅に減額された予算ではありますが、着実に寄附額を増やしており、自主財源確保のために大いに期待するところです。

また、基金については、減債基金は1億5,000万円、普通建設事業費に充当する公共施設整備基金1億5,460万6千円、財政調整基金繰入金2億836万円を計上し、財源確保を図っております。

歳出面においては、物価高騰をしているにも関わらず、児童福祉の施策や町道・橋梁などの整備・補修・修繕に伴うインフラ整備を確実に行うなど、厳しい財政状況の中で財源確保に努力したことに対して評価すべきものです。

また、子育て支援推進のための出生奨励祝金を拡充するなど、増大する財政需要に対し適切に対応し、住民サービスが低下しないよう配慮したものと評価し、町長が掲げる財政健全が進むものと思われます。

最後に、今後の町政運営にあっても町民や議会そして職員との議論を深めながら、住み良いまちづくりの実現に向けてさらなる西桂町の飛躍を期待し、令和8年度一般会計予算についての私の賛成討論といたします。



堀内町長 所信表明

令和8年3月定例町議会の開会にあたり、西桂町第6次総合計画に基づき、町のこれからの方向性と私の考えを申し上げます。議員各位をはじめ、町民の皆様のご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

「緑と水に親しむ空間の形成」

三ツ峠山や倉見山を代表とする豊かな緑、そして桂川の清流は、本町の宝であり、次世代へ確実に引き継ぐべき大切な財産です。これらを守り、町民が安心して親しめる環境を整えるため、桂川公園や三ツ峠さくら公園の適切な維持管理を行ってまいります。

また、桂川管理道や柄杓流川沿いの道路、登山道についても、継続的な点検と整備を進めてまいります。これにより、安全で安心な歩行空間を確保し、本町の強みである自然を活かした環境づくりを推進してまいります。

「環境保全・循環型社会の構築」

環境保全と循環型社会の実現に向けて、富士北麓・東部地域でのごみ処理の広域化が重要な課題となっています。現在、富士・東部広域環境事務組合を中心に事業が進められており、令和8年度は、令和9年度の施設整備・運営事業者の決定に向けた重要な段階を迎えます。

組合では、選定委員会の開催や事業者の選定、予定価格の設定などが進められる予定です。また、新しい施設では、ごみを燃やした熱を利用して発電し、その電力を売るための設備整備が計画されています。あわせて、その電力を送るための特別高圧鉄塔の設置も進められる予定です。

当町としても、事業が適正かつ着実に進むよう、組合と連携を図りながら、円滑な事業の推進に取り組んでまいります。

「水道・下水道事業の推進」

水道・下水道事業については、令和6年度から地方公営企業法を適用し、公営企業会計へ移行しまし

た。今後は、人口減少による使用水量の減少や、施設の老朽化に伴う更新需要の増加などにより、経営環境は一層厳しくなることが見込まれます。

このような状況においても、収入と支出のバランスを適切に管理しながら、水道管や下水道管、各施設の老朽化対策と更新を計画的に進めてまいります。

将来にわたり安全な水を供給し、適切な排水処理を行うため、持続可能な事業運営に努めてまいります。

「町土の有効活用と市街地整備の推進」

町土の有効活用と市街地整備については、まず町営住宅の改修を進めています。令和5年度に中野団地の改修が完了し、現在は月夜ノ平団地と浅間団地の改修を進めています。また、耐震性に課題のあった入田団地は全世帯の退去が完了したため、今後は跡地の活用について、地域の活性化につながるよう検討してまいります。

農用地については、荒廃農地や遊休農地の解消が大きな課題となっています。担い手への農地の集約や、関係法令との調整を図りながら、土地利用の転用も含めた有効活用に取り組んでいます。令和6年度から柿園地区の一部で策定を始めた将来の農地利用計画についても、住民の意向を踏まえながら順次拡大してまいります。

森林保全については、森林環境税を活用し、森林経営制度を着実に進めます。令和8年度は、倉見山の林地所有者から管理委託の意向があった箇所について、「経営管理権集積計画」に基づき、適切な整備と保全を図ってまいります。

「道路交通網・公共交通体系の確立」

道路交通網の整備では、県道富士吉田西桂都留線の西桂町内区間が令和8年度中に開通する見通しです。これにあわせて、町では広域ごみ処理場へのアクセス道路や、町道から県道への接続路の整備を進めます。また、柿園地区の桂高架橋下交差点の改良については、国道139号の渋滞緩和や、富士山噴火時の避難路確保に重要な事業であり、早期整備を山梨県へ働きかけてまいります。

「地域防災の推進」

地域防災の推進は、町民の命を守るための最も重要な取り組みです。南海トラフ地震や富士山噴火などの大規模災害を見据え、日頃からの備えを進める必要があります。町では、ハザードマップの周知や備蓄品の充実、避難所機能の強化などに取り組めます。

一方で、家具の転倒防止や食料の備蓄、家族間で

の安否確認方法の共有など、各家庭での備えも欠かせません。消防団や自主防災組織との連携による地域の支え合いを強化し、災害に強いまちづくりを進めます。あわせて、高齢者や障がい者のための個別避難計画についても、優先度の高い方から順次策定を進めてまいります。

「農林業の振興」

農林業の振興については、農家の減少や高齢化、鳥獣被害など、厳しい状況が続いています。これに対し、農業委員会と連携した遊休農地の解消や、猟友会と協力した有害鳥獣の駆除、防除施設への補助などの対策を継続してまいります。

また、新たに鳥獣被害対策として煙火の講習会を開催するなど、被害防止の取り組みを強化しています。公約である農産物直売会については、昨年の実績を踏まえ、今後も継続的な実施を目指します。

さらに、学校給食への地元産食材の供給を続け、地産地消の推進と児童生徒への安全な食材提供の両立を図ってまいります。

「商工業の振興」

商工業については、人口減少や購買行動の変化により、厳しい状況が続いています。地域に根ざした商業機能を維持するため、令和10年度までに5件以上の新規創業の実現を目標に、支援策の充実を図るとともに、空き店舗の活用を商工会と連携して進めます。

地場産業である織物については、展示会への出展や販路開拓の支援を行い、企業誘致の可能性調査も継続します。

また、ふるさと納税については、特産品の魅力発信や返礼品の充実により寄附額の増加を図り、その財源を地域産業の振興に活用してまいります。

「観光の振興」

観光振興では、三ツ峠山や倉見山、富士山の眺望といった地域資源を活かし、安全で快適に利用できる環境づくりを進めます。あわせて、体験型観光の受入体制を整え、都市住民との交流を広げることで、関係人口の創出に努めます。

「保健・医療の充実」

保健・医療の充実については、健康ポイント事業「にしばび!」を継続し、町民の主体的な健康づくりを推進します。また、新たに歯科健康診査への助成を開始し、生涯にわたるお口の健康維持を支援し

ます。

感染症対策としては、国の計画改定に基づき「西桂町新型インフルエンザ等対策行動計画」を本年6月を目途に改定し、有事に備えた体制の強化を図ります。

「子育て支援の推進」

子育て支援については、令和8年度から出生奨励祝金を第1子から対象に拡充し、経済的支援を強化します。

また、学童保育の長期休業中の昼食提供や、保育所での「こども誰でも通園制度」の開始により、保護者の負担軽減と、子どもたちが安心して過ごせる環境の確保を図ります。

「高齢者・障がい者福祉の充実」

高齢者・障がい者福祉については、緊急通報システムを、キッズフォンや人感センサーを活用した「見守りサポート」へと機能強化し、よりきめ細かな支援体制を整えます。

また、第10期高齢者保健福祉計画等の策定を通じて、適切な介護サービスの提供に努めます。障がい者福祉についても、第8期障害福祉計画等の策定を進め、尊厳ある生活を支える体制の充実を図ってまいります。

「学校教育の推進」

学校教育の推進については、児童生徒が快適に学習できるよう、国の交付金を活用し、特別教室への空調整備を計画的に進めます。

これにより、小中学校の教育環境を改善し、児童生徒の安全確保と学びの質の向上を図ってまいります。

「行財政運営の充実」

最後に行財政運営について申し上げます。旧役場庁舎の解体工事は、本年6月末までに安全に完了させ、跡地を来庁者用駐車場として有効活用します。

今後も厳しい財政状況が見込まれる中、予算編成においては経常経費の抑制と事業の重点化を徹底します。財政指標に留意しつつ持続可能な運営に努めるとともに、指定管理者制度の活用による効率化や、ふるさと納税による自主財源の確保を進めてまいります。

以上の施策を通じ、町民の皆様が安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

令和8年度 一般会計予算 主な事業概要

旧役場庁舎跡地駐車場造成工事 4 2 1 1万円

概要 旧役場庁舎跡地に駐車場造成



町営住宅水廻り等改修工事 8 7 4 2万円（国補助金事業）

概要

浅間団地 2号棟：6戸、月夜ノ平団地
2号棟：6戸
〔風呂・台所・洗面所の改修〕

都町2号線道路改良工事 8 9 1 0万円（国補助金事業）

概要

上町地区都町地内道路改良及び新県道
富士吉田西桂都留線へ接続
延長 L = 120.0 m 幅 W = 7.0 m

池ノ頭2号線・4号線道路改良工事 1 8 7 0万円（国補助金事業）

概要

上町地区池ノ頭地内道路改良及び新県
道富士吉田西桂都留線へ接続
延長 L = 85.0 m 幅 W = 5.0 m

下水道本復旧舗装工事 1 1 3 1万円

概要

倉見地区（松久保地内）、柿園地区（役
場付近三ツ峠線）舗装復旧
舗装面積 A=1,430 m²

柿園倉見線舗装修繕工事 2 8 6 0万円

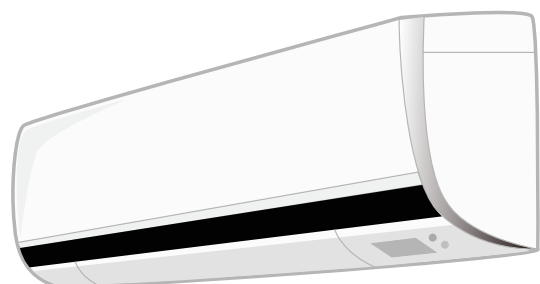
概要

倉見地区（県道富士吉田西桂都留線か
ら桂大橋）、柿園地区（桂大橋から国
道 139 号）舗装修繕
舗装面積 A = 1,800 m²

中学校特別教室空調設備改修工事 4 8 1 6万円（国補助金事業）

概要

西桂中学校特別教室へのエアコン設置
工事



小学校特別教室空調設備改修工事 2 8 3 4万円（国補助金事業）

概要

西桂小学校特別教室へのエアコン設置
工事

令和8年度 公営企業会計 主な事業概要

簡易水道事業会計 総額 1億6986万円

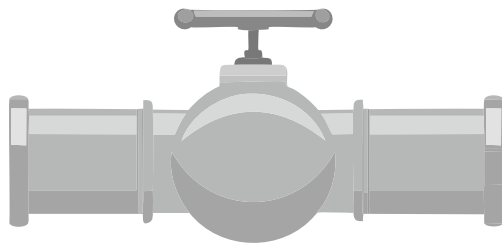
概要

下水道工事にかかる 水道本管布設替工事

2233万円（町単事業）
三ツ峠線 PE = 150Φ L=220m

県道路工事にかかる 水道管布設替工事

2780万円（町単事業・県補償金）
DIP = 300Φ L=155.6m



下水道事業会計 総額 3億987万円

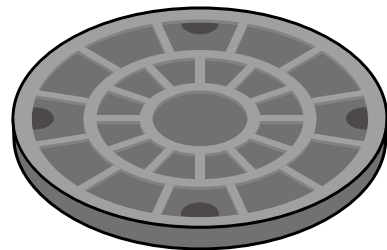
概要

下水道管渠布設工事 （第8-1工区）

3811万円（国補助金事業）
駅裏線 L = 305.3m リブ=φ150

マンホールポンプ No.5 交換工事

マンホールポンプ1号・2号交換
（町単事業）



令和8年度 西桂町各会計当初予算額一覧

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度比較	
	当初予算額(A)	当初予算額(B)	増減額(万円)	増減率(%)
一般会計	29億7704万円	30億6830万円	△9126万円	△3.0
特別会計	9億1819万円	8億9200万円	2619万円	2.9
国民健康保険特別会計	3億7317万円	3億8877万円	△1560万円	△4.0
後期高齢者医療特別会計	1億2035万円	1億1005万円	1030万円	9.4
介護保険特別会計	4億2347万円	3億9193万円	3154万円	8.0
介護予防支援事業特別会計	120万円	125万円	△5万円	△4.0
公営企業会計	4億7973万円	4億1638万円	6335万円	15.2
簡易水道事業会計	1億6986万円	1億1794万円	5192万円	44.0
下水道事業会計	3億987万円	2億9844万円	1143万円	3.8
全体会計合計	43億7496万円	43億7668万円	△172万円	△0.1

議案第1号 令和7年度西桂町 一般会計補正予算（第6号）

（主な委員質疑）

渡辺(正)委員長 減債基金の繰入金が全減となり、土地開発基金から1億8,296万5千円繰入をし、その繰入により財政調整基金8,730万6千円を減額しています。財政調整基金を1億円繰入している状況ですが、令和7年度末の財政調整基金の見込みが約1億4,800万円増額となっていますが詳しく教えて下さい。

川村企画財政課長 減債基金繰入金は、令和8年度当初予算の起債の償還金額が概ね1億5千万になるので、その部分を担保するというで予算を全減しました。財政調整基金は、土地開発基金繰入金1億8,296万5千円をそのまま積立てます。預金利子を約82万円見込んでおり、財政調整基金が1億円繰入となっていますが、3月末に各種交付金及び交付税が確定しますので、専決処分で概ね約7,500万円位は戻せる見込みです。

議案第11号 令和8年度 西桂町一般会計予算

（主な委員質疑・歳入）

自主財源の確保は何処に

奥脇委員 行政財産使用料の内訳に公共施設駐車場がありますが、行政財産と普通財産の区分はどうなっていますか。

佐藤総務課長 行政財産使用料は、行政財産使用料に関する収入を予算化したものです。なお、普通財産の貸付等に係る収入は、財産収入の財産貸付収入にて計上しています。

安留委員 令和6年度から8年度にかけて、町税全体でみると減少傾向にあります。税控除額が上がっていますが、賃金が上昇している中で個人所得税が減額となっている理由を教えてください。

小山税務住民課長 納税義務者を3%減で見込んでます。また、税制改正による控除額の拡大による影響により減額としています。

菅谷委員 戸籍関係証明手数料のコンビニ交付ですが、窓口交付が多いので対応を考えていますか。

小山税務住民課長 コンビニ交付30%以上を見込んで対応しており、窓口交付は減少しています。1月は40%を超え、平均で30%を超えており見込みどおり

なっています。窓口対応はむしろ減少しています。

菅谷委員 コンビニ交付の周知をさらに行い、利用者の増加となるようお願いします。

安留委員 公営住宅使用料ですが、水廻工事が完了しているところから入居してもらっていると思いますが、予算額が減少しています。世帯数を考えればもう少し増える形になると思いますが、今後の方策等があれば教えて下さい。

新田建設産業課長 中野団地は改修工事が完了しておりますので募集しています。令和8年度予算に月夜の平団地の水廻り改修工事予算を計上しているので、工事終了後に入居者を募集していきたいと考えてます。なお、浅間団地は26部屋改修工事が済んでいませんので募集はできませんが、年次計画で改修工事を行ってまいります。



菅谷委員 ふるさと納税について、令和5年度の6,230万9千円が実績値として最も大きい金額となっていますが、8,000万円計上した算定根拠を教えてください。

川村企画財政課長 3月10日時点において、6,776万4千円がふるさと納税の実績値となっています。中間管理事業者の選定も含め、目標値として8,000万円計上しました。

渡辺(佳)委員 学童クラブ長期休業昼食保護者負担金が33万円計上されていますが、算定根拠を教えてください。

川村子育て支援課長 自己負担金300円を予定しています。1日50食で夏休みの22日間で積算しました。

渡辺(佳)委員 昼食提供を利用する子どもを、利用価値を高め、どのように増やすかということは考えていますか。

川村子育て支援課長 保護者の負担軽減を事業の目的としています。昨年度はキャンセルが難しいということもありましたので、キャンセルの申出期間を含め、利

用しやすくなるよう検討していきます。

(主な委員質疑・歳出)

歳出削減に向けて最大限の努力

渡辺(佳)委員 職員研修費が9.3%増となっています。どのような研修をするために増額となっているか教えて下さい。

佐藤総務課長 出張研修と職員研修所への負担金となっています。なお、負担金は職員数により増減があります。県外で実施される研修の参加費用1名分を増額しました。

奥脇委員 昨年度、行政間ネットワーク運用事業に、ログミーツの使用料が積算されてました。令和8年度はログミーツの使用は検討されていますか。

佐藤総務課長 自動文字起こしをするためのログミーツですが、庁内ネットワーク運用経費に計上しております。月50時間のプランでしたが、実績から月10時間に変更する予定です。

安留委員 定住促進対策経費の空き家バンクポータルサイト委託終了による減額とありますが、ホームページを廃止したということですか。

川村企画財政課長 西桂町のホームページに組込んだことにより委託終了となるものです。

奥脇委員 学生の鉄道通学支援補助が計上されています。財政的に厳しい状況もありますが、県外に通勤される方への補助を将来的に考えていますか。

川村企画財政課長 現状は学生のための補助となっています。山梨県も人口減少が続いている中で、社会人の通勤に対する補助をする考えもあるとのことでした。

渡辺(正)委員長 水道管の検査と併用して衛星を使うことについて、費用対効果もありますが、検討して頂ければと思います。

小山税務住民課長 衛星を使うことについて、現在使用しているシステムとの連動を含め今後の技術革新や社会情勢を見ながら利用環境が整う段階で検討できればと思います。

渡辺(正)委員長 水道管の検査と併用できれば経費節減となりますので検討をよろしくお願いします。

渡辺(佳)委員 学童昼食業務委託58万3千円について、国の補助はありますか。

川村子育て支援課長 自己負担を除く2/3が国の補助となります。

渡辺(正)委員長 資源化物ステーション購入費ですが、資源化物の回収が増えて可燃ごみが減るのはよいことですが、資源化物の収集運搬をする業者は回数が増える

と思われます。収集運搬経費は増加する見込みですか。

小山税務住民課長 資源化物ステーションの廃棄物は、一般廃棄物の収集運搬に含め効率的に行いたいと考えています。収集実績を見ながら、現行の委託費の範囲で調整を図っていきたいと思います。

菅谷委員 火葬場管理運営費負担金と環境美化センター負担金は大きな金額となっていますが、算出根拠は確認していますか。

小山税務住民課長 火葬場管理運営費負担金について、令和8年度より施設整備基金の設立が始まります。負担金の平準化と長寿命化を目的としています。環境美化センター負担金は、運営費が増額となっています。昨年度夏にリチウム電池による火災が発生した部分も増額理由となっています。

菅谷委員 人口割の他に算出項目はありませんか。

小山税務住民課長 人口割の他、処理量推計値が含まれています。

梅原委員 ごみ処理場運営経費は、現在使用しているごみ処理場の負担金。新ごみ処理場整備経費は、事務組合で建設を進めているごみ処理場の負担金ということでしょうか。

小山税務住民課長 そのとおりです。

武藤委員 三ツ峠グリーンセンター施設管理経費1,291万7千円の詳細を教えてください。

川村企画財政課長 修繕費50万円。指定管理者委託料1,000万円。キュービクルに係る工事費233万2千円です。

武藤委員 指定管理者委託料1,000万円の内容について、殆どが人件費だと思われます。人件費がどの位かかっているか教えてください。

川村企画財政課長 人件費は指定管理者で計上しています。指定管理者からの報告で、令和7年4月～12月において2,543万339円となっています。

武藤委員 企業奨励交付金2,291万円の詳細を教えてください。

川村企画財政課長 条例に基づき固定資産税相当額の奨励金を3年間交付するものです。Nesic陸上養殖株式会社に固定資産税の奨励金を交付するもので、令和8年度で3年目となります。

安留委員 観光パンフレット完成による印刷製本費の減とありますが、実際の発行部数を教えてください。

川村企画財政課長 2年分で3万部印刷しています。

安留委員 配布先を教えてください。

川村企画財政課長 ふるさと納税のキャンペーン時には持っていきます。県に送付したり、談合坂サービス

エリアの下り線に、構成市町村の持ち回りで定期的にパンフレットを設置しています。

渡辺(佳)委員 ふるさと夏まつり補助金を100万円増額した根拠を教えてください。

川村企画財政課長 夏まつり実行委員会の若手から花火をもっと盛大にしたいとの話もあり、委員長を含め若手からの要望を受け、夏まつり補助金を100万円増額しました。



安留委員 公園に防犯カメラを設置する予定はありますか。

新田建設水道課長 桂川公園、さくら公園に設置してあります。それ以外の公園には設置していません。

安留委員 河川や設置されてない公園、小中学校には防犯カメラを設置する予定はありますか。

川村教育長 小中学校及び保育所は防犯カメラを設置しています。桂川公園は不審者がでるということで防犯カメラを設置した経緯があります。

新田建設水道課長 設置されてない公園についても、今後設置の検討をしていきたいと思っています。

渡辺(正)委員長 防災行政無線について、行政視察受入した際の説明にもあったとおり、5年後には運用の見直しがあると思われます。スマホのアプリでの利用を促進することで対応するということを聞いていますが、それに向けてどのような取り組みを実施していますか。

佐藤総務課長 行政視察の受入れをした際に、そのような説明をさせて頂きました。simカードを変えなければならないということで、前提としてはスマホに切り替えてもらうということですが、対応できない方もいらっしゃるので検討しているところです。

奥脇委員 小学校費の庁用器具費182万5千円の詳細を教えてください。

川村教育長 本年度は2年目ですが、4年計画で体育

館に50脚ずつ購入するものです。マットを敷いてパイプ椅子を出していますが、マットを敷く労力がかなり大変なので、下にゴムの付いた椅子を購入することで対応できるようにするものです。電子黒板も購入する予定となっています。

渡辺(佳)委員 小学校費児童用パソコン運用経費について、新しいタブレットが入りましたが、これまでのものと比べて大きなものとなっています。また、タブレットが大きくなったことで、机から落ちてしまうという課題もあり、タブレットの大きさに合わせた机の購入予定があるのか教えてください。

川村教育長 教育委員による学校訪問時にも、タブレットと併用している教科書載せると机が狭いのではないかとの意見もありました。机に足すものがあるらしいので、来年度以降検討していきたいと思っています。

梅原委員 中学校費施設管理経費の工事請負費4,815万8千円の詳細を教えてください。

川村教育長 特別教室にエアコンを設置します。家庭科室、技術室、理科室、美術室、音楽室にエアコンを設置する工事が一番大きなもので、国の補助事業で実施します。

渡辺(正)委員長 小学校費にも同様の工事が計上されています。国の補助割合を教えてください。

川村教育長 小学校は1部屋少なくなります。令和8年度の夏に間に合わせたかったのですが、受注生産となりますので、12月を目途にしています。

補助割合は1/3ですが基準単価があり、安い方を基準に補助金が決定されます。残りは起債が借ります。

奥脇委員 元金償還金が減少していますが、新庁舎建設の償還が始まった後の推移を教えてください。

川村企画財政課長 元利償還金が減少しているのは、5件の償還が終了したためです。新庁舎について、令和3年度から令和6年度に借入れた起債は、合計11億8,590万円です。なお、交付税措置75%、交付税算入率が30%です。令和8年度に、借入利息の償還が約896万5千円。令和9年度に、令和3年度に借入れた元利均等の償還が約1,039万円。令和10年度に、令和4年度に借入れた元利均等の償還が約2,715万円。令和5年度及び令和6年度に借入れた起債償還も順次始まりますので、令和11年度からは元利均等の償還が約5,217万円となります。

3月定例会・条例の制定・改正・その他議案

条 例 名	審議結果
西桂町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決 (全会一致)
西桂町職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
西桂町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)
西桂町第6次総合計画後期基本計画の策定について	可決 (全会一致)

令和7年度西桂町一般会計・特別会計・事業会計補正予算額及び主な経費

会 計 名	審議結果	補 正 額	補正後の予算総額
一般会計補正予算(第4号)〔専決処分〕	可決 (全会一致)	1億90万円	32億1433万円
一般会計補正予算(第5号)〔専決処分〕	可決 (全会一致)	347万円	32億1780万円
一般会計補正予算(第6号)	可決 (全会一致)	2449万円	32億4229万円
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)〔専決処分〕	可決 (全会一致)	657万円	3億9503万円
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)	△697万円	3億8806万円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)	122万円	1億1782万円
介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)	176万円	4億2935万円
簡易水道事業会計補正予算(第2号)〔専決処分〕	可決 (全会一致)	632万円	1億3404万円
簡易水道事業会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)	△785万円	1億2619万円
下水道事業会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)	△2090万円	2億8159万円

議案第2号 西桂町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

(主な委員質疑)

渡辺(佳)委員 保護者負担が、施設で設定ということで、1時間当たり300円を標準とするとありますが、国の基準ではなくて町で定めたものという解釈でよいですか。

川村子育て支援課長 国の基準を基に町で定めることになっています。当町は西桂保育所のみとなっていますので、そちらで検討させて頂いております。

議案第3号 西桂町職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部改正について

(主な委員質疑)

渡辺(正)委員長 夏季休暇が、3日以内から5日以内に変更となります。業務に影響を及ぼさない程度に取得してもらうということですが、職員にはどの程度に取得してもらうことになりますか。

佐藤総務課長 夏季休暇の3日は、職員にも定着しているので取得出来ていると認識しています。ただ、繁忙期と重なることもあるため、夏季休暇を取得出来ない場合もあります。取得期間は基本的に7～9月ですが、6月～10月でも取得出来ることとしています。5日に伸びますので、なるべく取得してもらうようにしていきたいと思っております。

安留委員 現在の有休消化率を教えてください。

佐藤総務課長 国で定める最低の5日間の有休取得について、重点的に進めているとことです。

有休消化率は、平均で10～12日位取得出来ているという認識です。

議案第12号 令和8年度西桂町国民健康保険特別会計予算

(主な委員質疑)

渡辺(正)委員長 子ども・子育て支援金193万2千

円が創設されています。今後の税率の見込や町民負担について伺いたい。

小山税務住民課長 国民全体で支援するために子ども・子育て支援金が創設されました。国の方針では、令和10年度まで段階的に拠出額が引き上げる予定となっています。全世代で公平な分担となる枠組みとして、段階的引き上げ・応益応能負担・公費投入の3つが原則となっています。

奥脇委員 県支出金が減少している一方、国保税が伸びています。国保税の負担が増加しているという認識でよいでしょうか。

小山税務住民課長 一定の負担増については事実です。西桂町の国保税額は県内において低位な水準となっています。令和12年度には県内で保険税率の統一が予定されており、このまま低い税率で推移しますと、その段階で急激な負担増が危惧されます。よって計画的な措置を目的とし国保税率を引き上げています。

奥脇委員 一般被保険者高額療養費支給経費が280万円減額となっています。医療費の伸びと連動するという認識ですが、被保険者数の減少によるものですか、それとも実績によるものですか。

小山税務住民課長 被保険者数の減により試算したものです。

議案第13号 令和8年度西桂町介護保険特別会計予算

(主な委員質疑)

奥脇委員 繰入金是一般会計繰入金9,157万9千円が一番大きいですが、町の一般財源で介護保険特別会計を支えているという認識でよいでしょうか。

小川福祉保健課長 介護保険特別会計の財源は、公費負担割合が定められており、町からも応分の負担をしています。

奥脇委員 居宅介護サービス給付費の増額について、要介護認定者が増えているためなのか、サービス利用者が増えているためなのか教えてください。

小川福祉保健課長 要介護認定者は微増となっています。サービス利用については、それぞれ利用頻度が違いますので、近年の実績から増額としました。



高尾 貞明 (柿園)

教育長



志村 祐作 (下暮地)

教育委員



令和8年2月6日 武藤英一 議員

令和7年度富士北麓広域市町村圏正副議長会議議員合同研修会 「財政審査の基礎知識」講師：森 裕之氏

今回の研修では、町のお金のしくみと、議会の役割について学びました。町のお金は、利益を出すためではなく、住民のみなさんの生活を良くするために使われるものです。黒字であることが大切なのではなく、そのお金をどう使うか、そして将来のためにどう残すかが大事だと感じました。

また、町が自由に使えるお金（一般財源）が、どのような取り組みを行うかを定める



大きなポイントになることも学びました。議会としては、その使い方が住民のみなさんの思いに合っているかをしっかり確認していく必要があります。

人口が減り、高齢化が進む中で、町の財政はこれから厳しくなっています。今回の学びを今後の議会活動に活かし、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

令和8年2月16日 梅原和男 議員

議員研修会（社会資本整備推進山梨県議会議員連盟） 社会資本整備と予算制度の活用について

社会資本整備とは、道路や水道、学校、公園など、私たちの生活を支える大切なしくみを整えることです。本研修では、こうした取り組みを進めるためのお金の使い方や、国・県・市町村それぞれの役割について学びました。特に、国からの支援や追加の予算をうまく使いながら、年度をまたいで計画的に事業を進めていくことの大切さが分かりました。

また、要望活動はただお願いするだけではなく、「本当に必要か」「どんな効果があるのか」「地域全体のためになるか」をしっかりと示すことが重要だと学びました。農業や森林



林の分野でも、施設を整えたり長く使えるようにしたり、防災の力を高めるためには、市町村が主体となり、将来も続けていけるしくみを考えることが必要です。

今後は、制度活用と財政規律のバランスを踏まえ、将来負担や事業効果を十分に検証しながら、西桂町の実情に即した政策判断に努めてまいります。



一般質問：公共施設の活用と体験型ふるさと納税について

本町は現時点では健全な財政を維持していますが、人口減少や施設の老朽化により将来の負担が心配されます。そこで、公共施設の有効利用や民間の力を取り入れて、費用を抑えながら収益につなげる取り組みについて、今後の目標を伺います。あわせて、ふるさと納税では、空き家を活用した滞在体験など「体験型」の魅力を高め、地域とのつながりや移住につなげる考えについて、現状と今後の方針をお聞きます。

町長答弁：公共施設が多機能化とコスト最適化について

当町では、「公共施設等総合管理計画」並びに「個別施設計画」に基づき、老朽化する施設の長寿命化と適正化に取り組んでおります。「事後保全」から「予防保全」への転換を図ることで、中長期的なライフサイクルコストの縮減と財政負担の平準化を目指す方針をとっております。ただし、光熱水費などの経常的な維持管理経費につきましては、照明のLED化や設備機器の適正な運用管理等を通じ、可能な限りの節減に努めてまいり所存です。

町長答弁：空きスペースの活用や多機能化による収益化について

役場庁舎においては、庁舎内に生じる空きスペースを、行政機能の強化と住民サービス向上のために積極的に活用してまいります。住民サービスの質を高める「機能的な行政拠点」としての転換を図ってまいります。きずな未来館については、世代を超えた交流の場としての機能をさらに強化し、講座やイベントの充実、地域団体及び民間事業者との共同利用を進めることで利用率の向上を図り、効率的な運営につなげてまいります。また今後は、指定管理者制度・共同運営やPPP／PFIなどの手法についても研究を進め、支出の抑制とサービス向上の両立を図ってまいります。守るべきものは守り、見直すべきものは見直すという基本姿勢のもと、持

続可能な公共施設運営に取り組んでまいります。

ふるさと納税における体験型戦略について

今後は、体験をふるさと納税の返礼品として活用し、「寄附→来町→滞在→地域とのつながり」という新たな流れを創出してまいりたいと考えております。そのため、商工会、地元事業者、教育・スポーツ団体等との連携を強化し、体験プログラムの企画及び情報発信を進めてまいります。体験を通じて西桂町の魅力を実感していただき、将来的な二地域居住や移住にもつなげてまいります。

再質問：公共施設の維持管理費をどの水準で管理していくのか

将来を見据え、予防保全への転換は重要であり、民間活力の導入や体験型返礼品の方向性も理解いたしました。そのうえで、もう一步だけ、町民の皆さまの安心につながる視点を共有させていただきます。公共施設の維持管理費は、今の暮らしと未来世代への責任です。今後5年・10年の歳入歳出見通しの中で、維持管理費をどの水準で管理していくのか。不確実な時代だからこそ、一定の幅を持つ「目標レンジ」を設定し運営することが重要と考えます。町の見解をお聞かせください。

町長答弁：管理目標について

当町では、令和3年度に「公共施設等総合管理計画」並びに「個別施設計画」の見直しを行い、施設の適正管理運営に努めてまいりました。議員ご提案の「一定の幅を持たせた管理目標（目標レンジ）」につきましては、令和8年度の計画見直し作業の中で、新庁舎のランニングコストや物価変動も見据えた上で、重要な検討事項として位置づけてまいりたいと考えております。具体的には、維持管理費の「実額」だけでなく、一般財源総額に対する「経常経費の比率」や、長寿命化による「コストの平準化」などを組み合わせ、財政の健全性を損なわない「適正な管理水準」を見定めていく方針です。「この範囲であれば、将来にわたって責任を持って管理できる」という明確な見直しを持つことは、町民の皆様の安心感、ひいては信頼につながるものであります。令和8年度の次期計画改定に向け、前向きに取り組んでまいります。



一般質問：県道富士吉田西桂都留線開通後の対応について

今回の一般質問は県道富士吉田西桂都留線開通に伴う対応について、都留信用組合小沼支店前の桂高架橋下入口交差点が、令和8年6月に工事完了予定となっています。

また、令和8年度末迄には、桂高架橋下入口交差点から富士吉田市小明見までが開通する予定となっており、それに伴い国道139号線の交通量が減少すると思われませんが、町内道路の影響、商工業への影響をどのように考えているのでしょうか。

また、町内の店舗が閉店することにより、買い物に困難になった高齢の独居世帯への対応について、行政の具体策を教えてください。合わせて、人口規模から大型店舗の進出が難しい中、衰退する地元商工業者への支援策についてのお考えをお聞かせください。

町長答弁

はじめに、県道富士吉田西桂都留線につきましては、現在も未開通の区間があるため、開通後の交通量を正確に見通すことが難しい状況にあります。特に、桂高架橋下入口交差点周辺は、令和8年6月に工事完了、その後、同年度末までに富士吉田市小明見方面まで開通する見込みであり、交通の流れが大きく変わることが予想されます。

開通後は、これまで国道を通っていた車が県道へ移ることで国道の交通量は減少する一方、町内の生活道路へ車が流入するなど、地域によっては交通量が増加することも想定されます。

商工業への影響につきましては、通過交通の減少により影響を受ける事業者がある一方、新たな動線の形成により来訪機会の増加も期待されます。当町といたしましては、沿線地域の状況を丁寧に把握し、西桂町商工会と連携して、販路の拡大支援や経営相談、地域内消費の喚起などに取り組み、地域商工業の維持と活性化を図ってまいります。

また、他の自治体では、空き店舗を活用した新規出店に対し、改修費や家賃の一部を補助する制度を設け、商店街の活性化や買い物が困難な方への対策につなげている事例があります。さらに、空き店舗活用促進事業として、買い物

困難者対策および地域商業の維持を目的に、小売・飲食・サービス業の出店に対し改修費や家賃を補助し、商業空白の解消に取り組んでいる事例もあります。本町におきましても、道路開通による人の流れの変化を好機と捉え、空き店舗の有効活用や創業支援を推進するため、出店支援制度の創設に向け検討を進めてまいります。

次に、町内の店舗の閉店により買い物が困難となる高齢の一人暮らし世帯への対応についてであります。西桂町商工会では、移動手段を持たない高齢者のための移動販売の導入を検討しております。また、福祉部門と連携し、買い物が難しくなった方に対しては、町独自の移動支援事業をご利用いただけるよう周知を図るなど、必要な支援を行ってまいります。

特に、日常の買い物環境を維持することは重要な課題であることから、食料品や生活必需品を取り扱う店舗の維持・誘致について、空き店舗活用施策と連動させながら具体的な対策を講じ、買い物に不自由を感じる方への支援の充実に努めてまいります。

いずれにいたしましても、道路の開通は本町の将来に大きく関わる重要な節目であります。町民の安全で安心な暮らしを守りつつ、地域経済の維持発展につなげていくため、関係機関と緊密に連携し、状況の変化に応じて迅速かつ着実に対応してまいります。

最終意見

県道富士吉田西桂都留線の開通に伴い、西桂町にて安全・安心を守りながら、今後の状況の変化に多方面にて対応していただけることを前向きに確約していただき、ありがとうございます。町の財政は厳しいことは十二分にわかりますが、ここで県道が開通することをチャンスに変えて、スモール予算を組み将来の投資として早期にいろいろな対応をお願いいたします。

にしかつらの

今 昔

西桂小学校

昔



明治 43 年 1 月 現在の学校の場所に木造平屋建ての校舎竣工

木造校舎から近代的な施設へと姿を変えつつも、西桂の豊かな自然と温かな地域性は、今も昔も子供たちの成長を支え続けています。施設や教育環境はデジタル化へと姿を変えましたが、「豊かな自然の中で感性を育む」という教育の根幹は、今も大切に受け継がれています。

今



昭和 55 年 1 月 南館校舎竣工
平成 5 年 3 月 北館校舎竣工